

# ❄️ 水道管・給湯器の凍結防止について ❄️

水道管や給湯器の凍結防止は入居者様が各自に行って頂く必要がございます。

万が一、凍結防止対策をとらずに凍結による水道管破裂等の事故が発生した場合は、修理費用は入居者様負担となります。家財保険の適用も受けられない場合がございますので、十分にご注意下さい。

## どの様な時に凍結するの？

- ・最低気温がおおよそ **-4℃** 以下になるとき。（風が強い日も要注意です。）
- ・留守にして数日間水道を使用しないとき。

## 凍結するとどの様になるの？

- ・水が出なくなるのはもちろんのこと、凍結すると水が膨張して管が破裂します。（解凍作業や水道管の修理費用は入居者様負担となります。）
- ・水道管破裂による漏水で下の階の入居者様にまでご迷惑をお掛けする恐れがあります。

## 凍結防止対策

### ブレーカーを落とさない

屋外給湯器には凍結防止ヒーターが付いています。

室内より電源を取っていますので凍結する恐れのある期間はブレーカーを落とさない様にご注意下さい。

長期外出や帰省される際もブレーカーを落とさないで下さい。

### 水抜栓でしっかり水を抜く

蛇口を開けた状態で水抜栓を閉め、水か止まるかどうか確認しましょう。

水道管内に空気が入り水が抜けます。

給湯器やバランス釜の水抜きも忘れずに行いましょう

※水抜栓には、ハンドル式・電動式などの種類があり、場所は水廻りが多いです。

水抜栓の場所や方法が分からない場合は、管理会社へお問合せ下さい。

